

## 1. 国際女性会議WAW! (ワウ)とは

- (1) WAW!(World Assembly for Women)は、日本政府の最重要課題のひとつである女性のエンパワーメントの国内外での促進のため、日本政府が2014年から開催している国際会議。
- (2) WAW!では、女性の活躍推進のための我が国の取組・進捗を国内外に発信すると共に、女性を巡る様々な課題について、政治、経済、社会分野の第一線で活躍する人々が議論し、提言を行う。これら提言は、国連文書として登録。
- (3) WAW!前後の期間を「WAW!ウィークス」と位置づけ、関連府省庁、市民団体等が開催する女性関連イベントと連携し、日本全体で女性の活躍推進のムーブメントを促進。

## 2. これまでのWAW! 開催実績

- **第1回WAW! (2014年9月12日、13日)**  
ラガルドIMF専務理事をはじめ、女性分野で活躍するトップ・リーダーが出席し、経済における女性の活躍促進、グローバルな課題と女性のイニシアティブ等について議論。
- **第2回WAW! (2015年8月28日、29日)**  
テーマは「WAW! For All」。サーリーフ・リベリア大統領(ノーベル平和賞受賞)をはじめとするオピニオン・リーダー約130名が、ワーク・ライフ・マネジメント、男性の関与、シングルマザー、理系女子、防災、起業、教育、平和構築、ODA支援等、若者、女性を取り巻く課題について幅広い切り口から議論。
- **第3回WAW! (2016年12月13日、14日)**  
テーマは「WAW! For Action」。インスタグラムCOOLレヴィーン氏を含む各界のトップリーダー93名が集まり、女性のリーダーシップやワーク・ライフ・マネジメント、理系分野における女性の活躍推進、女性の健康、女性・平和・安全保障、地方創生について議論。また、前回に引き続き、ユース・テーブルを設け、若者からも発信。
- **第4回WAW! (2017年11月1日、2日、3日)**  
テーマは「WAW! in Changing World」。イバンカ米国大統領補佐官やゲオルギエヴァ世界銀行CEOといった各界のトップリーダー66名が集まり、企業におけるジェンダー分野の取組、技術革新と女性、無償労働の再分配、女性・平和・安全保障、メディアと女性、若者と女性活躍の未来、自然災害と女性、女性起業家支援について議論。
- **第5回WAW! (2019年3月23日、24日)**  
テーマは「WAW! For Diversity」。W20と同時開催し、マララ・ユスフザイ・ノーベル平和賞受賞者やバチレ国連人権高等弁務官、ミケティ・アルゼンチン副大統領、7カ国の女性外相等、27カ国、3国際機関から計82人が登壇。技術革新と人材育成、地方活性化と雇用創出、女性の参画と紛争予防・平和構築・復興、多様性と企業経営、家族の未来等について議論。
- **第6回WAW! (2022年12月3日)**  
テーマは「WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」。ヨハネソン・アイスランド大統領、サンドゥ・モルドバ大統領、バフスUN Women事務局長等、各界のトップリーダー119名が集い、賃金格差、グリーン社会、デジタル、男性の関与、健康、平和・安全保障、防災等について議論。WAW!初の対面・オンラインのハイブリット方式での開催。地方と若者の参加を重視し、両者の特別セッションも設置した。

- 12月3日、国際女性会議WAW!2022を開催(6回目、2019年3月以降、約3年ぶり。)。対面及びオンラインによる初のハイブリッド形式での開催。全国22か所のサテライト会場と東京の会場とを繋ぎ、地方からの直接参加を可能とした。
- 当日の対面参加者は300人以上、26か国から119名が登壇した(ビデオ・メッセージによる参加を含む)。また、YouTubeでの再生回数は1万6千件を超えた。

- 「WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」をメイン・テーマに、男女の賃金格差から、女性の平和・安全保障への参画、女性と防災まで、幅広く、かつ、包括的に議論。あらゆる分野の施策にジェンダーの視点を取り入れることの重要性を再認識。
- 未来を担う若者世代の視点を交えながら、地方における諸問題にも目を向け、世代や地域を超えた議論を展開。
- 岸田総理は、開会挨拶の中で、「新しい資本主義の理念の下、世界各国の第一人者と共に多岐にわたる諸課題について議論を行い、これらをジェンダーの視点から有機的に結びつけることで、ジェンダー主流化を加速させていきたい」旨発言。



開会挨拶を行う岸田総理



ハイレベル・ラウンドテーブル

- 主な外国人登壇者:ヨハネソン・アイスランド大統領、サンドウ・モルドバ大統領、バフース国連女性機関事務局長、バツェツェグ・モンゴル外務大臣、マサゴス・シンガポール社会・家庭振興大臣(兼)第二保健大臣(兼)ムスリム問題担当大臣、他。



開会挨拶を行う森総理補佐官

※WAW!の前後2か月間(2022年10月3日から2023年2月5日まで)を公式サイドイベント期間(WAW!ウィークス)とし、ジェンダー平等に向けた機運を醸成。これまでに79のイベントを登録。